

旧江戸川（東京都）

Q 1

私が川と聞いて思い浮かぶのは、自宅のすぐ近くを流れる旧江戸川である。私の住む江戸川区は川に挟まれ、登校するにも、アルバイトに行くにも川を渡ることになる。中でもこの旧江戸川には沢山の思い出があり、思い入れの強い川だ。



Q 2

現在の旧江戸川は、川岸にゴミがあり、とてもきれいな川とは言いきれない。川の近くにある岩の間に、缶や瓶、お菓子の袋やタバコの吸殻東京側の川岸は、舗装され、芝生の斜面と階段、アスファルトに舗装された道がある。いつも誰かが散歩をしたり、釣りをしたりしている。川の流れはいつも比較的穏やかで、一度台風が近づいたときに川を見たときには、水面が激しく荒れていて、驚いたことがあるほどだ。

橋の柱の下にはホームレスの人が住んでいて、子どもの頃にはそのこともあり、川に積極的に近づくことはあまり無かった。

Q 3

学校の近くにある土手には、中学校時代の様々な思い出がある。まず、運動会のクラス対抗リレーのために、クラスメートと放課後に土手に行って、バトンパスの練習をした。秋になると、川岸は冷たかったが、土手は開放的で練習にも熱が入っていた。また、ブラスバンド部に所属していたため、部活のない日に友達と楽器と楽譜をもって、土手で練習したこともあった。その頃、顧問によく遠くを見て、音を遠くにとばすイメージで吹くとよいといわれていたので、格好の練習場所であった。楽器の練習をしていると、時々近所の人と話しかけてきて、音楽や楽器の話、地域の話などをすることもあり、戸惑いながらも楽しい時間を過ごしたことを覚えている。夏の夜には、花火をしに家族や友人と出掛けたり、弟とキャッチボールをするために遊びにいったこともあった。

私の中で、川（土手）は、気軽に行ける範囲にありながら、川の近くという環境が少し特別なような気がしていた。中学校の頃は、部活動や習い事で忙しかったために、どこかへ遊びに行くことは少なかった。しかし、部活動の後のちょっとした時間や、休みの日にどこにも行くところがないと、土手にいって話をしたり、自転車で川沿いをただひたすらに走ったこともあった。思い出すと、川は一番身近にある自然であったため、土手にいくといつも何か落ち着くような、新鮮な気持ちになったように感じる。

Q 4

私は、4才の頃に東京に引っ越してきたので、両親も近所の人にも20～30年前の川の様子を知る人はいなかった。江戸川区の葛西周辺は、集合住宅の密集した所謂ベッドタウンであり、昔から住んでいる人は少ないのである。ただ、お世話になった先生から、人づてではあるが、昔の川の様子を聞くことが出来た。今と比べて不法投棄は少なかったようだが、橋の下に落書きがあつたりもしたようだ。すでに集合住宅は出来始めていたため、子どもが多く、川でつりをして遊ぶ子どもも居たようである。旧江戸川にかかる舞浜大橋は、都心から東京ディズニーランドに向かう際にわたる橋なのだが、千葉側の川岸は整備されておらず、川の近くにゴミが捨てられることもあったという。現在も、フェンスだけの簡単な仕切りしかない。

Q5

旧江戸川専用のホームページは存在しなかったが、**wikipedia** や旧江戸川を通る水上バスの情報、そして驚いたのは個人のブログに、旧江戸川を散歩した感想が書いてあるホームページが多く目に付いたことである。私の中で旧江戸川は身近な川であり、わざわざ誰かが旧江戸川を見るために散歩に来ることは想像できなかった。

他に、自宅の最寄り駅である葛西臨海公園駅周辺の葛西臨海公園水族館や野鳥館、富士公園といったレクリエーション施設を紹介するホームページも目立った。子どもの多い江戸川区では、川を遊び場として紹介することも多いようだ。

wikipedia による江戸川の基本情報として、江戸川は江戸川区と千葉県浦安市を分けており、東京湾へと至る一級河川であると記されている。

「旧江戸川：東京都江戸川区と千葉県市川市の都県境に位置する江戸川・江戸川水門から分岐し、江戸川区と千葉県浦安市との都県境である東京都江戸川区江戸川付近で新中川と合流し、東京湾へと至る一級河川である。かつての江戸川の本流。全長 9.25km、流域面積 33.1km²。(wikipedia より転載)」

また、その歴史には洪水や流量確保のため、江戸川本川から分岐され、現在の名称旧江戸川になったとの記載もあった。小学校の頃に社会科見学で地域の方に昔の江戸川区は、埋立地だったため、地盤沈下や洪水が大変だったと聞いたことを思い出し、今回旧江戸川についての情報をホームページで検索しながら、旧江戸川の由来に納得した。

Q6

私は、川が近くにある今の生活を幸福に思う。なぜなら、東京という都会にいながらも、川という自然のものが身近にあることで、人工物でない自然のものに触れる機会があるからである。特に、旧江戸川は私の中学校時代の思い出の場所でもあり、今のまま、近くに住む住人が散歩にきたり、ジョギングやつりを楽しんだり、子どもの遊び場であつたりする川であって欲しい。今の川は、落書きなども頻繁に消されるようになり、夜には警察の方が治安維持のために見回りをしている。ただ、ゴミは落ちていて、決してきれいな川とはいえない。そして、最近子どもに関する物騒なニュースが続くためか、土手まで来て遊ぶ子どもは減ってしまっている。子ども達は、DSやゲームボーイを手にして、うつむい

て姿勢の悪い状態で、外に居るのである。私には小学生の弟が居るのだが、弟が遊びに行くと言って家を出たかと思えば、近くの公園で友達とゲームをしているのを見て、ショックを受けた。私が小学生の頃は、遊びに行くといえば、友達と外で身体を動かすことだった。しかし、今の子ども達は外で身体を動かして遊ぶことが少ない。

今の旧江戸川がもっときれいになり、治安が良くなって子ども達を遊びに行かせても安全な川にして、地域の人ともっとコミュニケーションをとる場になってほしいと思う。自然を身近に感じ、人とコミュニケーションをとる。現代の社会ではなかなか難しいことである。しかし、せつかく近くに川があるのだから、私達地域住民はその有難さをもっと感じて、川をきれいに、大切に思う気持ちを持つべきである。自然は私達の心を和ませてくれる。そして、自然を大切にすると心の余裕があることで、人はお互いのことを思いやって暮らせるのだと思う。旧江戸川をゴミや落書きのないきれいな川にし、地域住民が川の存在を愛するような社会になれば、今よりもっと旧江戸川は愛される川になるのではないかと考える。

参考文献

・ Wikipedia “旧江戸川”

<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A7%E6%B1%9F%E6%88%B8%E5%B7%9D>>

公開OK (匿名希望)